

## ■ 目標

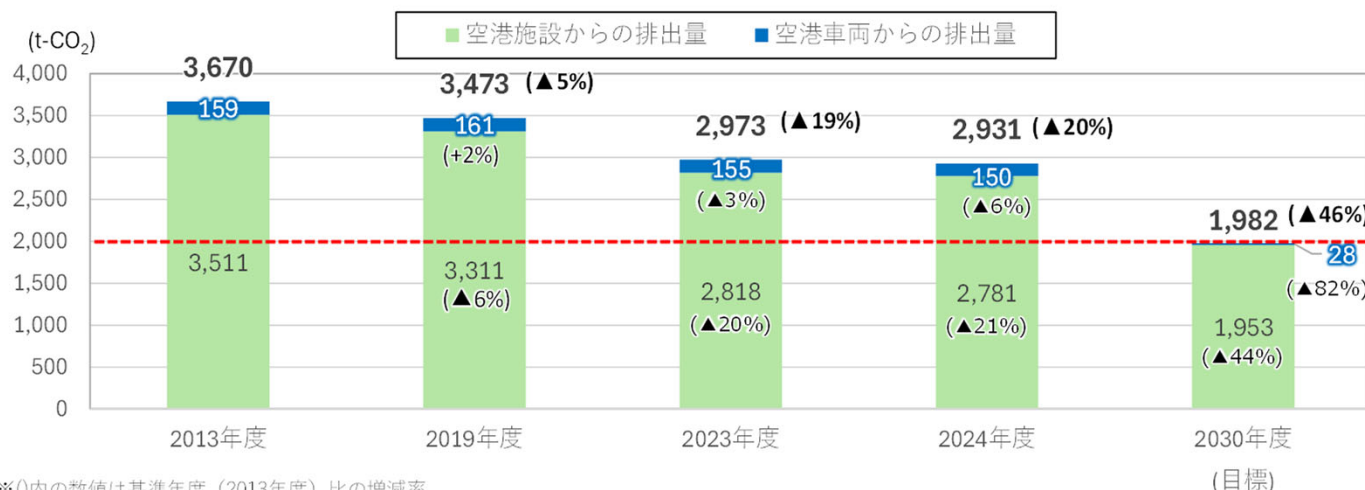
2030年度 CO<sub>2</sub>排出量 2013年度比 46%削減

2050年度 カーボンニュートラル

## ■ 取組状況

- **空港の施設**：航空灯火LED化により、CO<sub>2</sub>排出量は推定2t-CO<sub>2</sub>/年削減。(2013年度比0.05%相当)  
施設照明LED化により、CO<sub>2</sub>排出量は推定94t-CO<sub>2</sub>/年削減。(2013年度比3%相当)
- **空港車両**：空港車両のEV化は今後車両の更新時期に合わせて実施予定。

区分	CO <sub>2</sub> 排出量【t-CO <sub>2</sub> /年】				
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度	2030年度 (目標)
空港の施設からの排出量	3,511	3,311	2,818	2,781	1,953
空港車両からの排出量	159	161	155	150	28
計	3,670	3,473	2,973	2,931	1,982



2030年度目標値

※()内の数値は基準年度(2013年度)比の増減率

※釧路空港脱炭素化推進協議会構成員からの報告を元に作成

## ■ CO<sub>2</sub>排出量の増減理由

- 空港の施設からのCO<sub>2</sub>排出量は減少傾向にある。施設照明LED化がCO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与したと考えられる。
- 空港車両からのCO<sub>2</sub>排出量は減少傾向にある。2023年度以降の着陸回数が少なかったことが一因であったと考えられる。